

## Ⅲ 教育内容

### 1. 学校制度

#### (1) 3学期制・基幹授業5日制

本校では、1年を1学期（4月～7月）、2学期（8月～12月）、3学期（1月～3月）に分け、3学期制としている。また、基幹授業は月曜日から金曜日までとし、土曜日はICTを活用した個別学習や探究活動等、自主的な学びを奨励している。

#### (2) 中学校

アカデメイアコース・フロンティアコースともに、45分・週34コマ授業を基本とする。

#### (3) 高等学校

高3アカデメイアコースでは、45分・週34コマ授業、高3フロンティアコースでは45分・週37コマ授業を基本とする。

高1・高2アカデメイアコースおよびグローバルコースでは、45分・週34コマ授業、高1・高2フロンティアコースでは45分・週36コマ授業を基本とする。

### 2. 教育の内容

#### (1) 特色ある教育

##### ①グローバルストリーム

本校のグローバル教育のプログラムは、世界を舞台に学校生活で培った知識・能力を生かし、多様な人々と協働して新しい価値を創造する、世界を舞台に活躍できる人材の育成をめざしている。その際、国連のSDGs(持続可能な開発目標)を指標に社会課題への貢献を視野に入れた学びを展開している。また実践的な英語力、コミュニケーション能力の育成だけでなく、問題解決能力や他人と協働できる力を育むため、学校内外での様々なチャレンジの機会を用意している。

##### ②サイエンスストリーム

開校以来、継続して文部科学省スーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定を受け、先進的な理数・科学技術教育を実践している。中学の琵琶湖学習、高校の水環境ワークショップ、高校3年間の探究授業等、立命館大学理系学部・大学院および地域と連携し、主体的に調査・研究・発表する系統的な取り組みを展開している。

##### ③探究学力の育成

「共創探究科」を設置し、中学校の総合的な学習の時間および道徳教育から、高校の探究科目群(\*)に至るまで、統一した理念に基づき探究学力の育成をすすめている。めざすべき学力として、批判的思考力、協働的思考力、創造的思考力を設定し、評価アセスメントを活用している。

##### \*高校探究科目群

1年：Thinking Design

2年：文社探究Ⅰ、理数探究Ⅰ

3年：グローバルAP、サイエンスAP、文社探究Ⅱ、理数探究Ⅱ

##### ④ICT活用教育

生徒が一人一台のiPadを所有する環境を実現し、授業や家庭学習で効果的にICTを活用している。また、ICT機器は学習の道具としてだけでなく、生徒の諸活動で情報を共有する学校生活の道具として、教員と生徒・保護者をつなぐコミュニケーションツールとしても機能している。学校生活全般においてICT活用をすすめることで、生徒たちは「超スマート社会」を生きる力を着実に育んでいる。

## (2) 中学校教育

### ①アカデミアコース

自ら考える力、仲間と協議する力、課題に対して解決を図り人の役に立とうとする力を、さまざまな学習経験の中で培う。高校での学びにつながる基盤づくりのコースとして、知的好奇心、自主自律の精神、協働性や貢献の志を大切に、教科学習、課外研修、部活動などに取り組む。

### ②フロンティアコース

世界を視野に、高い学力と英語コミュニケーションを身につけ、将来社会のために役立ちたいと思う志を、教科学習、課外研修、部活動などを通して培う。難関国公立大学進学を目指す高校フロンティアコースや国際性を重視するグローバルコースへの進級を想定している。

## (3) 高校教育

### ①アカデミアコース

- 1) 1年時に文理共通の基礎学力を養成し、2・3年時には大学等進路を見据えた文系・理系カリキュラムを選択履修する。思考力・論理力・発信力を重視し、大学接続を強化した「理数探究」「文社探究」など教科横断型の科目を設置し、広い視野、解のない課題への対応力を身につける。
- 2) アカデミア文系では、人文・社会科学系の進路を想定し、地域社会・国際社会との連携の中で問題設定・解決を行う力を育成する。「文社探究Ⅱ」では、卒業論文を書き上げこれを学内外で発表することによって、高校での学びの完成をめざす。文社選択には、「クリティカルリーディング(国)」「世界遺産(社)」「Expression plus(英)」「伝統文化(美)」「メディアデザイン(情美)」といった選択講座を設け、広い分野での見識を広げ、国際社会の中で自分が担うべき課題を見つけて創造的な学習を進める。
- 3) アカデミア理系では、将来理工系学部への進学を希望し、高度科学技術分野で活躍する人材を育てる。「理数探究Ⅱ」では科学研究論文を完成し、学内外で発表を行う。理数選択には、「現代文講読(国)」「数学探究(数)」「コンピュータサイエンス(情)」「リビングデザイン(家)」「総合芸術(音美)」といった選択講座を設け、理系の概念にとらわれず、俯瞰的な世界の捉え方ができる力と現代社会のさまざまな課題の解決のために創造的な学習をすすめる。

### ②グローバルコース

- 1) 基本的にアカデミアコースと同じ教育課程枠の中で、国際社会に高い関心を持ち、積極的に国際交流を行いたいと考える生徒が選択する。2・3年次には、グローバル文系とグローバル理系に分かれる。
- 2) グローバル文系では、短期の海外研修や海外高校生との交流プログラムにより、コミュニケーション能力や英語運用能力を磨き、国際社会で活躍する人材を育てる。3年次には、文系系学部と連携し週1回衣笠キャンパスにて Advanced Placement (AP) 授業 (グローバル AP) を展開する。
- 3) グローバル理系では、研究課題としてグローバルなテーマを設けて研究し、海外校との共同研究や科学研究発表会の運営に関わりながら、将来のサイエンスグローバルリーダーを養成する。3年次には、理系学部と連携し週1回びわこ・くさつキャンパスにて Advanced Placement (AP) 授業 (サイエンス AP) を展開する。

### ③フロンティアコース

- 1) 理系・文系ともに難関国公立大学、医療系大学をめざすコースとして、大学入試にあわせた難易度が高いカリキュラムが組まれている。週37時間の授業以外にも、夏季合宿や長期休暇中の特別講義、専用の自習室設置等、学力を伸ばすサポート体制を確立している。
- 2) 大学入試だけでなく、医療機関研修等を通じて将来のビジョンや使命感を育む取り組みを展開している。滋賀医科大学と連携した医療基礎セミナーを開催し、最新の研究動向や医療現場の実例から医療人として必要な倫理観を学ぶ機会を設定している。
- 3) ニューヨーク研修では、国際連合の支援による特別プログラムやコロンビア大学での医療プログラム等、グローバルな学びを展開する。